

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 11月号



令和5年11月1日(水)

048 (641) 1214

048 (641) 6680 (さわか相談)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp>

学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』

- ◆たしかな学力
- ◆ゆたかな心情
- ◆たくましい身体

自分自身に挑戦するとき

校長 小林 正美

2学期の折り返しを迎えました。校地内の木々も秋の装いを見せ、とても過ごしやすい季節となりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。先月は多くの行事がありました。一つは、合唱祭です。各クラスが心一つにして発表してくれた合唱に、たくさんの感動をもらいました。二つ目は市内中学校駅伝競走大会です。24日(火)荒川総合運動公園にて行なわれました。駅伝は、襷(たすき)を繋げることによって走る競技です。任された区間を走る選手には、非常にプレッシャーがかかります。本校の選手は、一人ひとりが最後まで強い意志で走り抜け、全力を尽くしてくれました。とても素晴らしい走りでした。その他にも、新人体育大会、生徒会役員選挙の立会演説会など、生徒たちの活躍の場に溢れていました。



さて、秋の学校行事が一段落した今、静かに今までの学校生活を振り返り、深く反省して次の飛躍に備える時でもあります。11月は、進路講演会や期末テストも予定されています。今学期の学習のまとめの時機です。皆さんが毎日の授業に真剣に取り組んだ成果を試してみるときの時です。皆さんの学習に対する日常の態度、努力の跡が評価される時です。考えてみますと人生は学習の継続です。中学校での学習は将来皆さんが社会人となって活躍するときの基礎となるものです。中学時代にしっかり勉強し、意欲的に学習に取り組む態度を身に付けた人は、上級学校に進んでも社会に出てからも、自ら自分の進む道を切り拓いていくことができます。こんな話があります。国際会議等の同時通訳で活躍している人のところへ、ある中学生が「英語の上達法のコツを教えてください。」と手紙を出しました。するとその人は「コツコツやるに限る。」という返事をしたそうです。学習は積み上げが大切です。コツコツ努力しているうちに、いつのまにか学習の障害になっている壁を通り抜けることができるものです。

「継続は力なり」という、大正時代に浄土真宗の宗教家である住岡夜晃氏の有名な言葉があります。まさにその通りだと思います。このことは学校生活全体を通して言えることですが、とくに学習への取組についての心構えとして心に銘記すべき言葉だと思います。秋は、また収穫の時期です。実りのある学校生活になるかどうかは、皆さん一人ひとりの意欲にかかっています。今月末の期末テストでも全力投球で頑張ってください。この機会を、まさに、皆さんが自分自身に挑戦するときです。ベストを尽くしてくれることを期待しています。